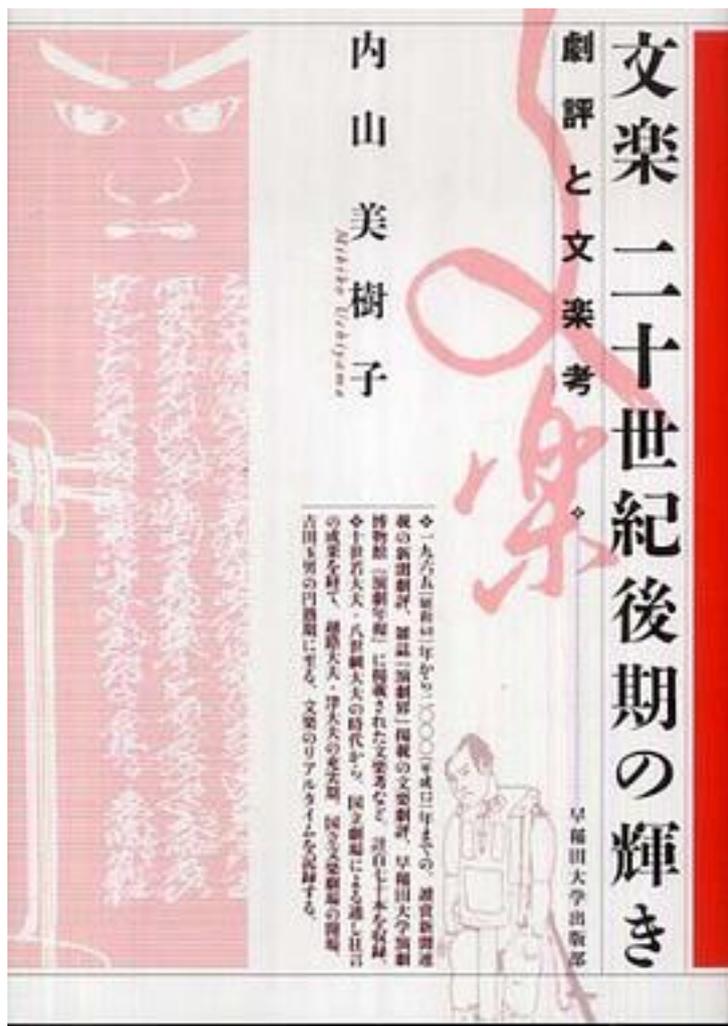


# 文楽 二十世紀後期の輝き一劇評と文楽考



[文楽 二十世紀後期の輝き一劇評と文楽考\\_下载链接1](#)

著者:内山 美樹子

出版者:早稲田大学出版部

出版时间:2010/02/07

装帧:A5判

isbn:9784657101020

一九六五（昭和40）年から二〇〇〇（平成12）年までの、讀賣新聞連載の新聞劇

評、雑誌『演劇界』掲載の文楽劇評、早稲田大学演劇博物館『演劇年報』に掲載された文楽考など、計百七十本を収録。

十世若大夫・八世綱大夫の時代から、国立劇場による通し狂言の成果を経て、越路大丈・津大夫の充実期、国立文楽劇場の開場、吉田玉男の円熟期に至る、文楽のリアルタイムを記録する。

劇評手習帖 一九六五（昭和40）年 - 一九六九（昭和44）年

第1章 一九七〇年代 国立劇場文楽公演に理念があった

第2章 一九八〇年代前期 越路大夫、津大夫、玉男、勘十郎の円熟期

第3章 一九八〇年代中・後期 国立文楽劇場開場以後

第4章 一九九〇年代 玉男の時代

付章 文楽時評 「本朝廿四孝」一いかに読み、どう演ずるか

作者紹介:

内山美樹子 [ウチャヤマミキコ]

1939（昭和14）年、東京都生まれ。1958（昭和33）年、東京雙葉学園高等学校卒業、早稲田大学第一文学部演劇専修入学。1971（昭和46）年、早稲田大学大学院文学研究科演劇専攻博士課程退学。1990（平成2）年、『浄瑠璃史の十八世紀』で文学博士（早稲田大学）学位受領。早稲田大学文学学術院教授（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

目録:

[文楽 二十世紀後期の輝き一劇評と文楽考\\_ダウンロード1](#)

标签

评论

-----  
[文楽 二十世紀後期の輝き一劇評と文楽考\\_ダウンロード1](#)

# 书评

-----  
[文楽 二十世紀後期の輝き一劇評と文楽考\\_ダウンロード1](#)